

# 令和4年度 事業計画の概要

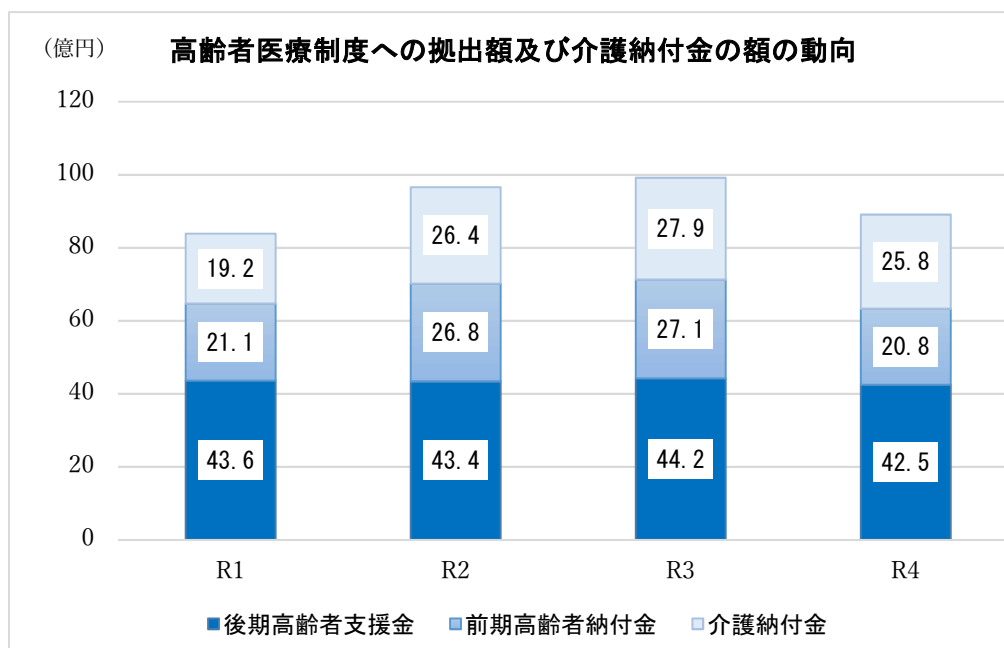
## 短期経理

短期経理は、保健給付・休業給付・災害給付・附加給付などの短期給付と、介護保険制度にかかる費用の納付を行っています。

●今年度の短期掛金率は、38.56%（うち福祉分につき、1.01%）で据置きとなりました。今年度の短期経理の収支は、高齢者の医療費に充てるための拠出金（高齢者医療制度への拠出金）の一時的な減少もあって、収入が支出を上回って黒字となる見込みです。しかし、令和5年度以降の収支は、高齢者医療制度への拠出金が再び増加することなどから赤字に転じ、同年度以降、赤字額が増加していくことが見込まれます。引き続き、これらの拠出額の動向を注視しながら、組合員にとって急激かつ過度の負担とならないよう適正な掛金率を設定していく必要があると考えています。

●今年度の介護掛金率は、当共済組合が負担すべき介護保険制度への拠出金（介護納付金）が一時的に減少することが見込まれるため、9.03%へ引下げとなりました（昨年度の9.35%から0.32%の引下げ）。しかし、介護納付金をめぐる情勢として、介護保険サービスの利用自体が増加していることに加え、令和2年度に介護納付金の額の算出方法が、加入者割（加入者数に基づく算出方法）から総報酬割（加入者の報酬総額に基づく算出方法）へ完全移行したことを受け、令和5年度以降、当共済組合が負担すべき介護納付金の額は高い水準で推移することが見込まれます。

●当共済組合における高齢者医療制度への拠出額及び介護納付金の額の動向は、以下のグラフのとおりです。





### 予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	18,322	経常収益	19,008
当期利益金	686	—	—
合計	<b>19,008</b>	合計	<b>19,008</b>



### 予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	11,291	流動負債	464
—	—	固定負債	1,342
—	—	剰余金	9,485
合計	<b>11,291</b>	合計	<b>11,291</b>

## 業務経理



業務経理は、短期経理の事務処理に要する費用の支出などを目的として設けられており、主として国の負担金により運営しています。

●令和4年度はジェネリック医薬品の差額通知事業を行わないこととしたため、同事業に係る費用（経常費用）を削減しています。



### 予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	55	経常収益	62
当期利益金	7	—	—
合計	<b>62</b>	合計	<b>62</b>



### 予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	126	流動負債	0
固定資産	28	固定負債	0
—	—	剰余金	154
合計	<b>154</b>	合計	<b>154</b>



# 保健経理

保健経理では、組合員と被扶養者の健康の保持増進等を目的に、生活習慣病対策、人間ドック等費用補助、福利厚生パッケージサービス、特定健康診査等の保健事業を行っています。

●保健経理のうち、支出の大部分を占める厚生費について、令和3年度と同様に、以下に掲げる事業等について支出を行う計画を立てました。

人間ドック等の利用者数の増加傾向は今後も続くことが見込まれますので、引き続き保健経理全体の在り方について検討していくこととしています。

## 厚生費の内訳



(単位：百万円)

事業名		令和4年度予算	備考
健康増進事業	人間ドック補助費用	221	組合員及びその被扶養配偶者に対し、3万円を上限に補助（いずれも30歳以上の者に限る）
	脳ドック及びPET補助費用	7	
	人間ドック等予算精算代行	15	—
	24時間無料電話健康相談事業	7	—
	小計	250	—
福利厚生パッケージサービス事業		40	—
特定健康診査及び特定保健指導		36	—
生活習慣病対策費		3	国が行う定期健康診断に対する補助
災害対策費		1	災害見舞金を支給した組合員を対象に支給
合計		<b>330</b>	—



## 予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	465	経常収益	423
当期利益金	0	当期損失金	42
合計	<b>465</b>	合計	<b>465</b>



## 予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	1,237	流動負債	8
固定資産	0	固定負債	0
—	—	剰余金	1,229
合計	<b>1,237</b>	合計	<b>1,237</b>

## 医療経理

医療経理は、福祉事業の一環として直営診療所を設置し、組合員等の診療に当たっています。

- 令和3年度と同様に、本部診療所2か所、支部診療所5か所、合計7か所の診療所を運営します。
- 患者数減少により収入が減少し、約3,800万円の当期損失金を計上する見込みです。



予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	84	経常収益	46
当期利益金	0	当期損失金	38
合計	<b>84</b>	合計	<b>84</b>



予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	725	流動負債	4
固定資産	7	固定負債	38
	—	剰余金	690
合計	<b>732</b>	合計	<b>732</b>

## 貯金経理

貯金経理は、団体保険事業のほか、共済組合事業全体の周知のため、共済組合ホームページの運用、共済組合事業小冊子や組合員手帳の作成などを行っています。

- 昨年度と同様に、主に団体保険（グループ保険等）及び団体扱保険の事業を実施するための費用を計上しています。
- 今年度の収入は、約1億5,700万円を見込んでおり、約6,900万円の当期利益金を計上する見込みです。
- 団体保険事業については、スケールメリットを活かして経済的な保険料の設定など有利な条件を確保しているところです。そのため、引き続き加入者数の維持・増加が必要であることから、今後も保険制度の周知を継続し、内容の見直しも検討するなどして、加入者の拡大を図ることとしています。



予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	88	経常収益	157
当期利益金	69	当期損失金	0
合計	<b>157</b>	合計	<b>157</b>



予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	1,267	流動負債	33
固定資産	1,563	固定負債	0
	—	剰余金	2,797
合計	<b>2,830</b>	合計	<b>2,830</b>

## 貸付経理

貸付経理は、組合員に住宅資金や教育資金などの貸付事業を行っています。

- 令和3年度と同様に、組合員に対して、普通貸付、特別貸付、住宅貸付及び特別住宅貸付の4種類の貸付を行います。
- 組合員に対する貸付金が減少しているため利息収入が減少する見込みです。  
令和3年度と同様に、連合会から貸付資金の借り受けを行わず、自己財源により貸付資金を賄います。



予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	16	経常収益	33
当期利益金	17	-	-
合計	<b>33</b>	合計	<b>33</b>



予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	1,083	流動負債	0
固定資産	1,239	固定負債	0
	-	剰余金	2,322
合計	<b>2,322</b>	合計	<b>2,322</b>

## 財形経理

財形経理は、財形貯蓄残高を有している組合員に住宅資金の貸付事業を行っています。

- 令和3年度と同様に、勤労者財産形成促進法に基づいて財形持家融資に関する事業を行います。



予定損益計算書

(単位：百万円)

損失	金額	利益	金額
経常費用	4	経常収益	4
当期利益金	0	当期損失金	0
合計	<b>4</b>	合計	<b>4</b>



予定貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
流動資産	0	流動負債	0
固定資産	532	固定負債	532
	-	剰余金	0
合計	<b>532</b>	合計	<b>532</b>

